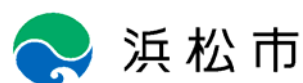


浜松市の みちづくり計画

平成29年度～平成38年度

Road Plan Hamamatsu



目次

1. 計画の概要	1
2. 道を「つかい・つくり・まもる」上での課題	3
3. 浜松市の将来像・関連計画	15
4. 市民ニーズ	17
5. 道を「つかい・つくり・まもる」の方向性	19
6. みちづくりの基本方針	27
7. 道路整備プログラム	28
8. 参考資料	43

1. 計画の概要

■背景と目的

浜松市は、首都圏と関西圏のほぼ中間に位置し、その恵まれた立地条件の下、これまで、国土交通省、静岡県、NEXCO中日本等との関係機関と連携する中で、高速道路から生活道路まで様々な“みちづくり”を推進し、市民の利便性向上や安全・安心な移動の実現等に寄与してきました。

“みちづくり”の中でも、道路整備に関しては、用地の確保や工事の実施等で多くの財源が必要となることのほか、多くの市民の皆様のご協力が必要となり、短期間にて全ての道路を完成することは困難です。

このため、浜松市では、平成18年度に道路整備の指針となる「浜松市のみちづくり計画」を作成し、平成24年度に一部見直しを行いながら、一歩ずつ着実な道路整備を進めてまいりました。

しかしながら、昨今の高齢化の進展や生産年齢人口の減少が加速する状況下で、道路の観点で産業や観光の発展を支え、魅力や活気があり、持続可能な都市の形成を図るためには、既存の道路を有効に“かしくつikai”、真に必要な道路を“つくる”ことが必要です。

また、政令指定都市の中でも、類まれにみる道路延長、橋梁数等を管理しており、近い将来、これらが一斉に更新時期を迎えることから、限られた財源の中で、計画的な維持・修繕等を確実に行う必要があります。

更に、巨大地震や局所的な豪雨、頻発する大規模自然災害等、著しい自然環境の変化に耐え得る道路施設として、しっかり保全するとともに、痛ましい交通事故から市民を守る等、安全・安心で住みよいまちを“まもる”の観点で考えていく必要があります。

このように、近年、道路を取り巻く環境が変化し、多くの課題を持つ中で、本市が持つ「浜松市総合計画」等をはじめとする関連計画や様々な市民ニーズを踏まえ、平成29年度から10年間における道路を「つかい・つくり・まもる」について、基本理念・基本方針等を定めた「浜松市のみちづくり計画」を策定しました。

本計画に沿って“みちづくり”を進めることにより、「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」に貢献します。

浜松市のみちづくり計画 (平成19年3月策定、平成24年3月見直し)

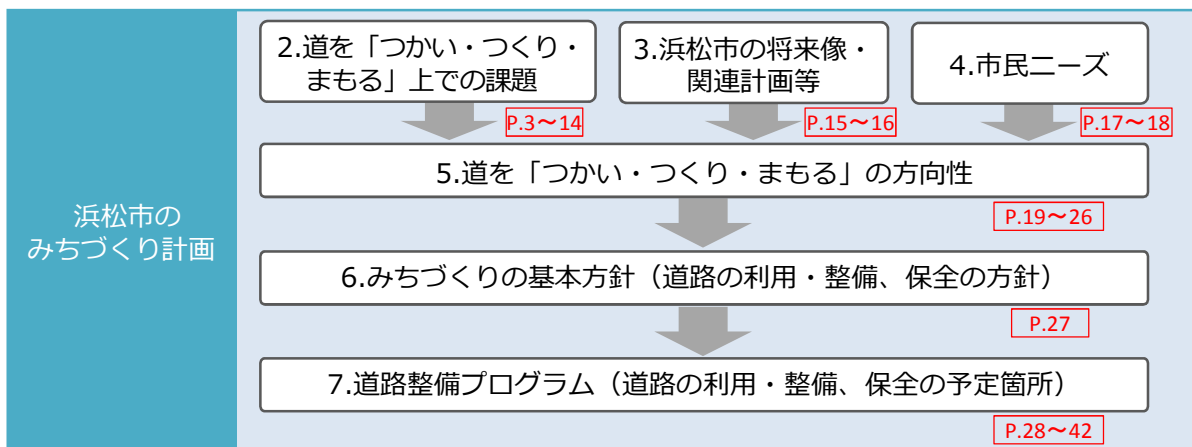
“みちづくり”を取り巻く様々な背景

- 新東名高速道路の開通
 - 三遠南信自動車道の部分開通
 - 人口減少・高齢化の進展
 - 南海トラフ巨大地震への備え
 - 観光・産業力の持続・強化への必要性の増加
 - 道路施設の老朽化
 - 安全な交通社会の実現への機運の高まり
 - 自然災害の頻発
- 等

浜松市のみちづくり計画 (平成29年度～平成38年度)

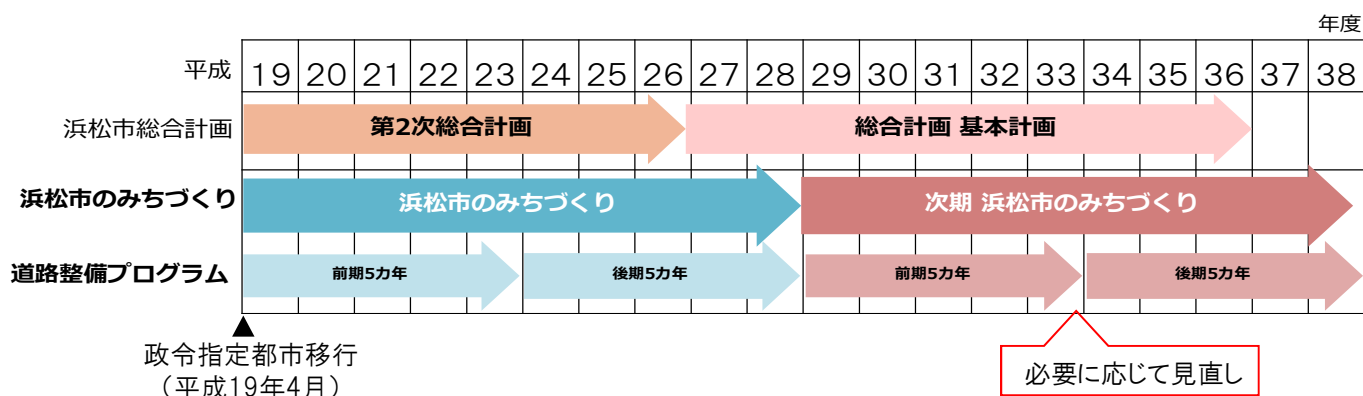
■計画の構成

「道を『つかい・つくり・まもる』上での課題」、「浜松市の将来像・関連計画等」、「市民ニーズ」を踏まえて「道を『つかい・つくり・まもる』の方向性」を整理し、その方向性に対応した「みちづくりの基本方針」を設定しました。また、重要度の高さおよび財政状況を考慮し、具体の予定箇所を「道路整備プログラム」に位置付けました。



■ みちづくり計画の目標年次

- ◇ 目標年次：平成38年（2026年）
- ◇ 計画期間：平成29年度から平成38年度までの10年間



■ 本計画の位置付け(上位・関連計画との関係性)

